

# みんなの居場所

## 裏面の話題

みんなの居場所の裏面も、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、語、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和8年5月25日(月)

### 運動会がいつまで続くか

運動会には保護者の皆様を始め、多くの方々に支えられ、成功裏に終わったことを大変嬉しく思います。

この時期、運動会が終わりの、目標が無くなってしまったり、少し心細い感じが空いてしまった感覚に陥ることがあります。「疲れが溜まりつつあるから学校休みます」「私達の時代にはあんなに得意な事でした。そのならぬに何を必要か」という、学生さん達を次のステップへ活かすことについてです。運動会の勝ち負けだけに振り過ぎず、「負け」を経験すること、やる気が出なくなったり、次の目標を見出せなくなったり、その事が原因でルールを守れなくなったりすることがあります。中学生や高校生も同じようなことを経験することがあります。所謂、燃え尽き症候群といえます。私はこれまでこの取組を見ていて、子ども達の大きな成長を感じています。6年生は期待値以上に成果を挙げたと思っています。勝ち負けに関係なく、お金には買えない貴重な経験を積んだことが嬉しいですね。

開会式の時、6年生数名の児童の目には光もものがあつたように思います。殆どの子どもが達成感を感じたのではないのでしょうか。これまでの取組が「帳面消し」ではなく、本気だったことの現れたと思います。勝つことも目標の一つですが、負けて悔いももたないものです。6年生はどの運動会も集団をまとめることの大切さを難いながらも学び、得られる達成感や充実感も味わったことでしょうか。それを更に伝承して7年生に引き継いでほしいと思います。

6年生は今後の目標として、何を設定するのでしょうか。「修学旅行に向けて」、「卒業に向けて」、「色々あること」。運動会の余韻に浸ってばかりではいけません。次のステップに向けて活動を開始する時期に来ています。今後も更なる有意義な経験を積み、地域の一員として、活躍してください(おまけ)を期待しています。



### シリーズ「自分を語る」#100

長崎福祉研修の後、それぞれの研修施設では研修のものの大詰めでした。研修のまとめとして、支援団体、研修受け入れ組織の代表者の方々の前で研修成果のプレゼンも行なわれはならず、研修員としては忙しい年末年始でした。殆どの研修員がそれぞれの組織で年末年始を過ごし、日本の正月を味わっていました。ただ一人だけ、韓国の研修員チエさんは公務員ですので、研修先の人達もお休みを取っています。さて、どうしたのか? と思って、チエさんに年末年始の予定を聞いてみると、何と韓国から奥様が来日されるというのでした。宿所でもう一人おられるというのでした。だが、日本の正月の雰囲気を感じて頂くと、我が家に招待し相成りました。この時の様子が研修のまとめに記事として、私も嬉しく感じました。

その様な中、研修員、留学生の帰国に向けて、肅々と行なう事務手続きが行われていきます。来日と同様、それぞれの帰国に税金を使いますので、最も合理的で安く帰国できる方になりはなりません。しかし、帰国に関してはあまり手間を取ることはありませんでした。この研修員は「ホーム」に帰国の日程が決まっています。

1月末、海外技術研修員の帰国です。福岡空港からの帰国だったのは、アシアの研修員中国、タイ、カンボジアの3名です。中国の研修員、劉さんが帰国の途に就きました。彼女は涙を流し、別れを惜んでくれました。私は人のお別れの時に「抱擁」をしたことはあまりありませんでしたが、この場面では自然に女性との抱擁ができましたね。不思議なもので、その短い瞬間に個人レベルでは仲良くできるのに何故、国家間では険しいが起るのか? という疑問が湧いてきました。今でも、その疑問は私の中にあります。

劉さんのお見送りの後、タイの研修員、ロンさんと、カンボジアの研修員、キンさんは同じ便に乗るようになっていました。タイ航空のバンコク直行便です。キンさんはバンコクでトランジット、その後、カンボジアに向かいます。順調に進んでいた帰国の動き、ここでトラブル発生です。搭乗口を抜けた人達は楽しそうに話しながら、搭乗を待っています。が、放客のタイ航空搭乗機の不良品で、機が使えないとアナウンスがあったのです。私もその人の研修員もびっくりです。暫くしてまたアナウンスがありました。これも機が使えないというので、タイ航空の別の飛行機が羽田にあるので、そこでまず移動ということになりました。タイの研修員ロンさんは大喜びでした。逆にカンボジアの研修員キンさんは心配顔です。見ている面白いなあ、と思っていました。私は熊本に帰らねばなりません。私も心配でしたが、熊本で連絡を待つことになりました。

県庁についてすぐに連絡がありました。ロンさんからでした。無事東京について食事をとりましたことでした。キンさんはまだ心配しているらしく、元気があります。心配でしたが、明日は東京発のバンコク行きに乗るというので、幾分か安堵も感じられました。

このようにして、5人の研修員を帰国させ、韓国の研修員、チエさんも同様に帰国の手続きが進みました。チエさんは熊本発アシア航空の飛行機、帰国です。仁川(インチョン)空港経由で帰国したため、少々時間がかかります。チエさんの自宅は韓国の忠清南道にあり、南下する必要があったためです。(つづく)

## 赤団集合



## 白団集合

